２０２６年１１月５日（木）

自民党女性局の小林・永井両参議院議員が函館どつくを視察
～造船現場で働く女性職員と意見交換～

１１月２日（月）、自由民主党女性局の小林一大参議院議員、永井学参議院議員（ともに女性局次長）ほか党本部職員の皆様が、函館どつく株式会社（代表取締役社長：服部 誠、以下「当社」）函館造船所を視察されました。今回の視察は、国家戦略分野の一つである造船業の強靭化に向け、建造・修繕の現場と、そこで働く女性の活躍の状況を確認することを目的に行われたものです。

当日は、活躍する女性職員の状況や働きやすい職場づくりへの取組みをご紹介し、人材確保や職場環境の整備、資機材・物流コストの上昇など、地方造船所が直面する課題をご説明しました。続いて当社女性職員も同行し、ぎょう鉄加工などの現場をはじめ、大型ブロックパネルライン化に向けて改修中のNS3工場、約50年ぶりに新造船用ドックとして復元を予定している旧大型ドック、修繕設備の第３号ドックをご覧いただきました。議員からは、造船業とそこで働く女性の活躍をしっかりと後押ししていきたいとのお言葉をいただきました。

当社は今後も、名村造船所グループの一員として、日本の造船技術の発展と誰もが活躍できる職場づくりに取り組んでまいります。

小林議員（左から３人目）と永井議員（同４人目）